

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事のメニューなど、利用者にわかりやすい表示を期待したい	・食事がより豊かで楽しい時間となるような工夫	・食えること、生活への意欲を持っていただけるよう、毎日の献立をご利用者の方にご覧いただき、また、献立は皆が見えるところへ表示し、ご利用者同士の会話につなげる。 ・お茶の時間がより充実したものとなるよう、準備できる飲み物のメニュー表を作り、ご利用者を選んでいただく工夫をする。	3ヶ月
2	45	浴槽が深いので、手すりの設置など、安全面に配慮されたい	・安心・安全な入浴 ・ご利用者ひとり一人の残存能力をより長く保つための工夫	・ゆくゆくは浴室改修を予定している。 ・暫定的な対策として、浴槽周辺に手すりを設置したり、浴槽内に踏み台を置く等し、安心・安全な入浴ができるように福祉用具を導入する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。